

## ◆コクヨ株式会社

事業内容	製造業
所在地	本社オフィス:大阪府東成区 東京品川オフィス:東京都品川区
従業員数	連結 4,949名、単体 186名
主な制度・ 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 始業時間を30分ずらした時差勤務制度がある。対象者は遠距離通勤者。</li> <li>▶ フレックスタイム制度については、9:30～15:00をコアタイムとしている。</li> <li>▶ さらに平成19年10月から短時間勤務制度を導入。要件は育児および妊娠期間中のみ。勤務パターンは1日6時間、1日7時間、週3日間の3パターン。週3日のパターンの場合の曜日については、事前申請制となっており、月間カレンダーで上司と相談の上、決定。</li> <li>▶ 長時間残業の削減については、毎週水曜日をノー残業デイに設定している。各部署混合の巡視隊が見回り、19時以降は電気を消すようにしている。</li> <li>▶ 平成20年1月に、部下との密なコミュニケーション、時間内に仕事をする意識を高める、の2点を目的とした、管理職対象のワーク・ライフ・バランスセミナーを開催。</li> </ul>
マネジメント について	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 平成19年8月にダイバーシティ推進委員会を立ち上げ、月1回以上のペースで今後の施策のメニューを検討した。</li> <li>▶ 取組を開始した一つの要因は、年代別にみると男女別の人員構成が非常にいびつであり、多様な人が働ける体制が必要となったことである。またもう一つの大きな要因は、40歳代男性社員が親の介護をする年に差し掛かり、介護の為に会社を辞めたり、辞めなくても倒れたりすることが懸念されるようになったことである。優秀な人材は確保しにくいので、そのような人材を逃がさないための取組が必要とされた。</li> <li>▶ ダイバーシティの推進に関しては、社長からのメッセージも伝えられると同時に、各事業会社社長も、決意表明をしてもらっている。</li> <li>▶ 自分で肌で感じるものを仕事に生かしていく必要があるが、そのためには仕事ばかりではいけない。「どんな人でもどんなときでもいきいき活躍いい仕事、多様な価値観をビジネスにいかしていきたい」をモットーに掲げている。ワーク・ライフ・バランスの実現でモチベーションが上がって仕事に生きがいを感じる、社会と人にやさしい会社になっていくこと、が目標である。</li> <li>▶ 育児休業などの長期の休業については、休業中の評価がつかないが、その結果、昇格試験の受験資格要件（連続する過去〇期の評価が△以上）を満たせなくなるのが現在の課題である。ブランク期間があると、結果的には昇格に影響してしまう。</li> </ul>
コスト・メリッ トについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 現在はワーク・ライフ・バランスが非常にアンバランスな状態であるが、しかし、「労働時間減→自己研鑽時間増→会社へ利益をもたらす比率増」という効果や、「労働時間減→病気リスク減→メンタル減」という効果は考えられるはずである。</li> <li>▶ こういった取組をしていることは、ブランディングの向上の上では非常に重視している。また顧客の多様化に対応するためには、社員も多様化しなければならない。これらの取組によって、クリエイティブな発想が生まれることに期待したい。</li> </ul>